



四日市市立
港中学校だより

青葉旬う

令和7年9月26日
No.6 発行:校長

みえスタディチェックの結果からみる本校(1・2年生)の傾向

今号ではみえスタディチェックの結果からみた1, 2年生の傾向をお伝えします。みえスタディチェックは三重県教育委員会が行っている調査で、毎年、県内希望する中学校の1, 2年生を対象に実施されます。今年度は4月に国語と数学、理科の学力調査が行われました。また、同時に「生徒意識調査」による生活や学習状況の調査も行われました。その結果をもとに、本校の傾向を説明します。

1 各教科の傾向と四日市市平均との比較について

【国語2年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を0.9問上回りました。学習指導要領の領域別では「話すこと聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で市の平均を上回っており、「知識および技能」ではほぼ同じとなっています。

【国語1年生】

本校の平均正答数は四日市市平均を0.5問下回っています。学習指導要領の領域別では、「知識および技能」「書くこと」「読むこと」の領域で市の平均を下回っており、「話すこと聞くこと」ではほぼ同じとなっています。

【数学2年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を1.5問上回りました。学習指導要領の領域別では、「数と計算」「図形」「測定/変化と関係」「データの活用」のすべての領域で市の平均を上回っています。

【数学1年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を0.3問下回っています。学習指導要領の領域別では、「数と計算」「図形」「データの活用」の領域で市の平均を下回っており、「測定/変化と関係」ではほぼ同じとなっています。

【理科2年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を1.2問上回りました。学習指導要領の領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のすべての領域で市の平均を上回っています。

【理科1年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を0.8問下回っています。学習指導要領の領域別では、「粒子」「生命」「地球」の領域で市の平均を下回っており、「エネルギー」ではほぼ同じとなっています。



2 生活意識調査からみる本校生徒(1・2年生)の傾向

生徒意識調査より (一部抜粋)

肯定的回答の割合 (%)

質問事項	本校	四日市市
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	78.6	87.6
毎日、同じくらいの時刻に起きている	90.8	93.9
自分には、よいところがあると思う	80.7	82.6
将来の夢や目標を持っている	75.5	77.2
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.1	97.1
人の役に立つ人間になりたいと思う	96.3	96.6
自分と違う意見について考えるのは楽しい	83.3	83.7
何かを考えるとき、一つの視点だけではなく、別の視点からも考えようとしている	87.3	84.4
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	77.0	82.3
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりすることができる	70.0	80.9
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	87.3	89.0



生徒意識調査の結果から、本校の1、2年生は「人の役に立つ人間になりたいと思う」生徒や「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」生徒が多いことが分かりました。また、「何かを考えるとき、一つの視点だけではなく、別の視点からも考えようとしている」生徒や「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」生徒も高い割合になっています。

No.5 (前号)でお伝えした「全国学力・学習状況調査」の結果と今回の「みえスタディ」の結果から、学習面や生活面における本校生徒の傾向が明らかになりました。今後は、毎日の「港タイム」等の時間を活用し、「リテラス」や「コグトレ」「シート学習」等の取り組みを更に進めることで読解力の向上や知識・技能の定着を図っていきます。また、家庭学習について、学ぶ意欲を高め、授業の学習内容を確実に定着できるよう、課題の目的をはっきり示し、計画的に取り組んでいきます。

また、「みなトーク」の時間を中心に行っているソーシャルスキルトレーニングの取り組みを今後も継続していくことで、コミュニケーション能力の向上を図っていきたいと考えています。